（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所ソレイユ			
○保護者評価実施期間	2026年　1月　5日	～	2026年　3月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	23	（回答者数）	10
○従業者評価実施期間	2026年　1月　5日	～	2026年　3月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　5月　25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療育と個別療育を組み合わせた療育プログラム	集団療育と個別療育を組み合わせた活動を取り入れています。季節に合わせたイベントや創作活動、外遊び等の様々な活動や遊びにより心身機能や身体能力の向上に繋げています。個別療育では個々の課題に応じた学習や遊びを通して生活能力の向上を目指します。また、集団活動を通してルールやマナーを学び、社会性を身に付ける療育を目指しています。	多様な活動プログラムを用意し、明確なルールのもとで子供たちに様々な体験を通して成長に繋がるよう取り組んでいきます。活動の中で成功体験を積み重ねることにより生活能力の向上に努めてまいります。また、プログラムが固定化しないよう工夫し、楽しく通所してもらえるよう取り組んでいきます。
2	家族支援の取り組み	お子様の日々の活動の様子を伝えることで保護者の方との情報共有に努めています。また、お子様のご家庭での様子やご家族の様子を聞き取りし、心配事や困りごとの相談に応じています。ご家族の方にはお子様の発達状況に応じた関りが持てるよう支援しています。	お子様に必要なことを保護者の方と一緒に考え、積極的に情報交換を行うことで信頼関係の構築に努めてまいります。お子様の個性を尊重し保護者の気持ちに寄り添った支援の提供を心掛けてまいります。
3	清潔で心地よく過ごせる環境整備	毎日、清掃やアルコール消毒を徹底し、整理整頓に取り組んでいます。また、緊急時の避難も迅速に行えるよう動線を意識した環境整備を行っています。また、エリアの明確化や合理的な物の配置を工夫し、子供たちがストレスなく活動できる環境づくりを心掛けています。	今後も安全で清潔な空間づくりを行い、子どもたちが安心感を持って楽しみながら通所できる環境づくりを心掛けます。また、怪我等の予防策として安全点検を実施し必要な対策を講じてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の療育能力や専門性の向上	利用者の抱える背景や特性は多様化しており、マニュアル通りの対応では適切な支援が難しい現状があります。質の高い療育を提供するため人材育成と専門性の確保が急務となっています。	必要に応じて人材確保に努めてまいります。また、職員の資質向上のため定期的に勉強会を開催したり、外部の勉強会にも積極的に参加し職員が研修を重ねることで専門性の獲得に努めます。今後も専門的な支援の強化に取り組んでまいります。
2	療育室の活動空間の整備	療育スペースに構造上の課題があるが設備の変更が難しく、活動プログラムによっては十分な活動スペースの確保に限界があります。また、物理的なバリアフリー化や視覚的なわかりやすさを考慮した空間整備が必要です。	構造上の設備変更は難しいため、空間をうまく使う工夫や、道具を使用して対応してまいります。活動に支障が生じないよう適切な環境整備に取り組んでまいります。また、今後も活動内容によっては外部施設や公園等の活用を積極的に取り入れていきます。
3	各種マニュアルの策定や避難訓練等の情報発信について	各種マニュアルの策定や定期的な避難訓練の実施について情報発信していますが、保護者の皆様へ十分伝わっていない現状があります。	保護者の皆様にしっかりと情報を伝えることができる仕組みづくりに取り組んでまいります。また、非常時の対応について定期的な情報共有に努めてまいります。